

知事と区市町村長との意見交換会(台東区)

令和2年10月23日(金)

16時20分～16時40分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○知事 服部区長、こうやって直接お目に掛かって、現場、台東区の状況を直接お伺いしたいと思います。ウィズコロナの時代とはいえ、連日コロナとの戦い、本当にご苦労様でございます。

また、都政としても、今、構造改革も進めておりました、コロナはもとより今後の新しい日常を描きサステナブル・リカバリーを果たしていきたいと考えておりますので、今日はそういった意味で台東区の現状、そして課題、ご要望等を聞かせていただければと思います。

ちなみに今日から「もっとTokyoキャンペーン」が始まって、台東区の賑わいも取り戻されますよう、願っているところです。

○行政部長 それでは服部区長、ご発言をお願いいたします。

○台東区長 小池東京都知事はじめ関係職員の皆様には、このような機会を設けていただきまして、ありがとうございます。

それでは台東区から3点、要望をいたします。

はじめに荒川氾濫等、大規模水害への対応です。本区を含め、荒川の浸水想定区域を有する区にとって、氾濫時の避難先の確保、これは住民の命を守るうえで大変重要な課題でございます。区内にあり、高台となっている上野恩賜公園は、区民はもとより江東5区や荒川区の住民等、多くの方が避難すると予想されます。

本年5月に公表された、首都圏における大規模水害広域避難検討会の中間報告書では、広域避難場所に関する計画、広域避難場所の調整等を、都全体で対応を求めるレベルとしています。

そこで区内外の住民が円滑、安全に広域避難を行い、混乱なく避難場所で滞在できるよう、次の2点について協議をお願いします。

1点目は、計画的で誰もが安全に避難できる体制を整備するためにも、一刻も早く東京都や国が主体的に動き、荒川氾濫時における避難、誘導の方策や、避難場所等について関係自治体、関係機関を集め、具体的な検討を進めていただきたい。

2点目は、水害時に活用する都立施設については、施設との調整あるいは災害時の開設、運営を区市町村が行うとされていますが、東京都において開設、運営する方向で、関係する区市町村と協議をお願いいたします。

要望の2点目は、地域産業等の回復、振興に向けた支援です。台東区は商工業の中心地であり、江戸から続く伝統工芸や靴、鞆、ベルト等皮革関連産業、また、ジュエリー、玩

具、帽子、洋傘、革小物等の地域産業が集積をして、ファッション雑貨の産地として発展をしてきました。

区では平成 28 年から、東京都中小企業振興公社主催の展示商談会と台東区の産業フェアを同時に開催して、インド、ASEAN 関係諸国の大使館関係者もお招きをして、台東区の地域産業の情報発信や販路拡大を図ってきました。併せて、中小企業振興公社のバンコク支所にご協力いただいて、海外販路を目指す企業を、区職員が引率して、タイの国際展示会に出展をしています。しかしながら今回のコロナ禍により、小規模企業の多い地域産業は深刻な影響を受けています。

東京都においては、こうした区の取り組みに対し、一層のお力添えをお願いいたします。特に本区における地域産業振興のためには、事業継承や次世代の人材の育成、これは重要課題であり、そのために総合的な教育施設等、ご検討いただきますよう、よろしくお願いをいたします。

最後に医療機関に対する支援です。

本区の中核病院である永寿総合病院は院内感染の拡大による診療休止等により、診療収入が大幅に減少しています。これに対して、国と東京都の補正予算による支援で 45 億円の優遇融資を受け、現在休止病床の補助協議を東京都と行っています。

また、区としてもこれは毎年 1 億円の補助金の他、地代の免除等、緊急的な財政支援も行いました。

しかしながら、現行の支援では融資の返済や赤字の解消は困難であり、これにより不採算部門である、これは区が要請しております産婦人科、あるいは小児科、救急医療等の政策的医療の安定的な確保が困難になる恐れがあります。

また、感染症患者の受け入れ医療機関のみならず、その他の医療機関においても受診控えや予定手術の延期等による収入減、感染防止対策による費用増により、経費が大幅に悪化をしています。このような状況が続けば、区民の命と健康を守る地域医療の提供体制に重大な影響が生じることになります。

このことを踏まえ、新型コロナウイルスの影響により経営が悪化した各医療機関に対する新たな給付金を創設する等、減収に見合った東京都独自の財政支援を行っていただきたい。

以上、3 点の要望についてご検討賜りたく、お願いをいたします。どうもありがとうございました。

○行政部長 服部区長、ありがとうございます。それでは知事からお願いいたします。

○知事 それでは 3 点、ご要望等伺わせていただきました。

まず台風 19 号、去年の時は本当に様々な課題が浮き彫りになったことであります。大規模水害時の広域避難についてですけれども、住民に向けた早期の自主避難を徹底して知らせること、それからさらなる避難先の拡充等、実現可能な方策の検討も進めております。

マイタイムラインで、皆さんそれぞれご自分のお家で、いつ何をするか等、また、教育現場等でご活用もいただきたい。

そしてまたこれからも国、関係機関と連携しまして、これらのことについては、大規模水害時のことについて検討を進めてまいります。

また、去年の際は上野公園内の東京文化会館を避難先として、急遽開放させていただきました。都立施設の避難先としての活用についてのお話でありますけれども、発災前から区と、そして都が連携をしまして、相互に協力するということが何よりも大切だと考えておりまして、引き続き都として必要な支援を行ってまいります。

それから2番目で、こちらの今日から「もっと Tokyo」という話もしましたけれども、感染症の拡大は、地域経済に非常に深刻な影響を及ぼしたものでございます。そして商店街も買い物の場だけでなく、地域コミュニティの中心として重要な役割を担っておられますので、その活性化ということも1点。それから今年度は商店街が取り組むイベントへの支援について、追加の申請を認める等、重要な運用も行っております。

それからお話にありました、それぞれ地域によって産業が集積をしているというお話がありますが、その中でも地場産業の振興を図るということは、まず経営の新たな担い手であるとか人材の確保、育成が重要ということから、様々な経営知識を提供する場の確保や、職業訓練の実施に続き、都としてもしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

それから病院等、医療関係の支援でありますけれども、これまでも都としても複数回と言いましょうか、9回補正予算を組みまして、そしてこれまでの様々な支援を行ってきたところでもあります。

なかでも医療機関について、病床確保量、設備整備費の補助、そして入院患者を受け入れた医療機関に対しての経営基盤の包括的な支援のための臨時支援金の交付ということで進めてまいりまして、引き続きこちら、医療機関の支援を行ってまいります。

それから国に対しての要望も、引き続き行う必要があるかと思えます。7月の段階ですけれども、通常診療を含めて医療提供体制が確実に維持されますように、医療機関の実状を踏まえた支援策の拡充について要望を行ったところでございます。

これからもこのコロナとの戦いは続くわけでございますけれども、この医療機関が役割を果たしていただきますように、支援をしていくということについては変わりがございません。以上です。

○行政部長 それでは服部区長、今のお話を受けていかがでしょうか。

○台東区 ありがとうございます。医療機関の関係では、今、国の方にも区として強く要望はいたしております。

また、都と国連携をして、ぜひよろしくお願ひしたいと同時に、また、区もいろいろまだ感染も継続しておりますし、東京都の方からは一番この大変な時期に2名の応援をいただき、現在4名ですか、職員派遣をいただきまして、大変区としてもありがたく思っております。こうして、区と国も本当に連携をしてやっていくことが一番大事だと思います。

また、インフルエンザの流行期に備えて発熱患者の受け入れ体制、このことについても台東区は下谷、浅草両医師会、また、区立台東病院をはじめ、台東区の病院、これもしっかりと連携をして、これからも備えて取り組んでいこうということになっておりますので、

ぜひまた一緒に取り組ませていただきたいというふうに思います。

また、風水害の件ですが、台東区も台風 19 号等がございました。そのことに基づいて、台東区風水害の対応方針をこのたびまとめました。

自主避難場所を 6 か所、緊急避難場所を 10 か所、計 16 か所の避難場所を区内全域に設置をして、このことの避難も台東区としては職員をそれぞれ配置して対応に当たろうということをごさいますて、その広域避難場所、このことについてはなかなか検討会の課題が解決をしていただかないと、具体的な区としての計画が立てられないということもごさいます。こうした災害時にその場の判断の緊急的な対応を強えられることとなりますので、この辺、特によろしくお願いをいたしたいと思います。

また、3 点目で、台東区は商業、江戸時代から、江戸創業の店もたくさんありますし、江戸時代からの職人さんがいらっしゃる、また、それを活かした様々な伝統的なものも含めた地域産業、皮革関連産業をはじめ、さまざまな産業もごさいますけれども、こうした皆さんが今も頑張っているんです、ただ、これからさらにがんばっていくために、いろんな制度、融資ですとかそういったことも、いろんなメニューをご用意をいただきました。

しかし、区としてはいわゆる後継者、次世代の後継者、それが育っていかないと、これが継続していかないわけです。

従って、今、知事から職業訓練というようなお話もいただきました。ぜひそのようなことを今後都と区と連携をしていただいて、しっかり取り組んでいただければと思いますので、また、それぞれの各業種の皆さんのヒアリング等もぜひ、私どももいたしておりますけれども、こうした皆さんの意欲的な気持ちに応えられるように、それがまた販路開拓に繋がっていくように努力していきたいと思っておりますので、ぜひひとつよろしくお願いをいたします。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いをいたします。

○知事 荒川氾濫等の大規模水害の対応等、ご要望もいただきました。

また、これは国が中心ですけれども、ワーキングも行っていて、年内とりまとめだと聞いております。また、様々な連携を取りながら、区民のそして都民の安全を守っていききたいと考えております。

また、長期戦略を描くうえで、まさにこういった課題というのは大きなポイントになるかと思っております。今後とも連携取らせていただいて、これらの策定とそしてコロナ対策、喫緊の課題であるコロナ対策等を進めていきたいと考えております。よろしくお願いをいたします。ご苦労様です。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。